神奈川県議会議員 西村くにこ

県政報告

発行：2024年11月

［プロフィール］2011年神奈川県議会（川崎区）に初当選。現在、４期目。防災警察常任委員会／予算委員会／公明党神奈川県議団副団長／社会福祉法人川崎いのちの電話評議員／防災士／骨髄バンクドナー登録説明員／認知症サポーターキャラバンメイト／こころサポーター（メンタルヘルス普及促進）／心のバリアフリー推進員（障害者理解促進）／保護司



ホームページ
http:// 西村くにこ .com/
Facebook
https://www.facebook.com/nishimura.kuniko
▲ホームページ
▲ Facebook

神奈川県議会報告

かながわ救急相談センター「#7119」がスタート！

急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んだ方がいいかどうか、判断に迷った経験はありませんか？そんなとき、専門家からアドバイスを受けることができる電話相談窓口「かながわ救急相談センター（＃７１１９）」が、１１月１日から神奈川県全域でご利用いただけるようになりました。



いのちを守るために！

神奈川県内の救急車による救急搬送人員数は、年間４１１,３０７件（令和３年）。このうち高齢者の搬送件数は、６割に当たる２３８,８４７件に上り、今後、高齢化の進展により、救急車の出動件数はますます増えていくことが見込まれています。出動件数が増えると、救急車が現場に到着するまでに要する時間も伸び、救急隊の到着が遅れてしまうおそれがあります。「＃７１１９」では、電話口で看護師がお話を伺い、病気やケガの症状を把握して、救急車を呼んだ方がいいか、急いで病院を受診した方がいいか、受診できる医療機関はどこか等を案内します。

緊急性が高いときには救急車の要請を、そうでないときは症状等に応じたタイミングで医療機関を受診することを支援することで、救急医療体制を守り、いのちを守ることができるのです。

提案から８年で実現

私は、平成２８年の神奈川県議会一般質問で初めて「＃７１１９」の実施を提案し、以来、繰り返し議会で取り上げてまいりました。コロナ発生に伴い、先送りされてしまいましたが、昨年、ようやく実施の方向性が示されました。実現にこぎつけた背景に、コロナ下での医療連携が寄与したことは皮肉なことです。これから迎える年末年始には、相談件数が増えることも想定されます。しっかりと繋がり、対応できる「＃７１１９」となるよう注視してまいります。

政策実現まで実に８年。時間はかかりましたが、決してあきらめずに訴え続けた結果が実りました。